


様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和2年7月31日

大阪府泉州農と緑の総合事務所長 殿

受 付
令和 2 9.30
泉農緑第 号
 大阪府

提出者

住 所 大阪府中央区淡路町1丁目2番6号

氏 名 阪本薬品工業株式会社

代表取締役社長 阪本 稜雄

電話番号 06-6231-1851

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	阪本薬品工業株式会社 泉北工場
事業場の所在地	大阪府泉大津市臨海町1丁目20番地
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	16：化学工業
②事業の規模	出荷金額：59億円
③従業員数	泉北工場83人/会社全体319人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図) 別紙の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(平成 30 ³¹ 年度)実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃アルカリ
	排出量	896.51 t	410.00 t
	(これまでに実施した取組)	①装置を安定稼働させること、また無機成分の少ない原料を使用することにより、排出量の低減を図る。	②蒸留器の洗浄水であり、装置を安定稼働させることで、排出量削減に努めている。
【今年度(令和 元 ² 年度)目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃アルカリ
	排出量	897 t	410 t
	(今後実施する予定の取組)	①上記取組を継続。	②装置安定稼働は継続。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 基本的に発生した所で保管管理しているので、全て分別されているが、廃プラとガラスくずは混合物として委託処分している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記取組を継続。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（平成 30 ³¹ 年度）実績】			
③有機性汚泥	④油泥	⑤廃アルカリ	⑥無機性汚泥
141.54 t	17.38 t	2,959.00 t	11.61 t
③製造工程にて使用する活性炭の廃棄物であり、年々品質を確認しながら添加量を削減してきた。	④粗製グリセリンのタンクに堆積した汚泥。清掃に伴い回収。	⑤精製工程より発生する製品洗浄水である。製造工程の改善を継続し、使用量削減に努めている。	⑥製品の濾過に用いられた濾過助剤を主体とする。濾過助剤の使用量の適正化に努めている。
【今年度（令和 元 ² 年度）目標】			
③有機性汚泥	④油泥	⑤廃アルカリ	⑥無機性汚泥
142 t	17 t	2,959 t	12 t
③上記取組を継続。	④適正処理に努める。	⑤上記取組を継続。	⑥上記取組を継続。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（平成 ³¹ 年度）実績】			
⑦廃油	⑧木くず	⑨有機性汚泥	⑩ガラスくず等
42.47 t	3.26 t	5,498.72 t	3.85 t
⑦タンク清掃時に油分を高濃度に含む残渣を廃油として処分した。残渣の量の削減に努めている。	⑧パレット及び梱包材。生産活動に伴い止むを得ず発生する。	⑨活性汚泥施設より排出するスラリー量である。脱水機により減量して搬出、処理施設で全量が堆肥化される。	⑩廃プラ及びガラスくずの混合物。可能な限りサンプル瓶を洗浄、再利用を実施している。
【今年度（令和 ² 年度）目標】			
⑦廃油	⑧木くず	⑨有機性汚泥	⑩ガラスくず等
42 t	3 t	5,499 t	4 t
⑦適正処理に努める。	⑧上記取組を継続。	⑨脱水機の保全を含めた排水処理設備の安定稼働を行い、発生量の削減に努める。	⑩上記取組を継続。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度 (平成 30 ³¹ 年度) 実績】			
⑪ばいじん	⑫	⑬	⑭
19.95 t	t	t	t
⑪焼却炉処理水の濾過で用いる濾過助剤であり、濾過助剤の使用量の適正化に努めている。			
【今年度 (令和 元 ^二 年度) 目標】			
⑪ばいじん	⑫	⑬	⑭
20 t	t	t	t
⑪適正処理に努める。			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成 30 ³¹ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃アルカリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)	①実績なし	②実績なし
②計画	【今年度（令和 5 ⁶ 年度）目標】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃アルカリ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)	①特になし	②特になし
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成 30 ³¹ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃アルカリ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	410 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	410 t
(これまでに実施した取組)	①実績なし	②自社焼却炉にて、通年燃焼処理	
②計画	【今年度（令和 5 ⁶ 年度）目標】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃アルカリ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	410 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	410 t
(今後実施する予定の取組)	①特になし	②上記取組を継続。	
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成 30 ³¹ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)	①実績なし	②実績なし
②計画	【今年度（令和 5 ⁶ 年度）目標】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)	①特になし	②特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（平成 30 ³¹ 年度）実績】			
③有機性汚泥	④油泥	⑤廃アルカリ	⑥無機性汚泥
0 t	0 t	0 t	0 t
③実績なし	④実績なし	⑤実績なし	⑥実績なし
【今年度（令和 元 ² 年度）目標】			
③有機性汚泥	④油泥	⑤廃アルカリ	⑥無機性汚泥
0 t	0 t	0 t	0 t
③特になし	④特になし	⑤特になし	⑥特になし
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（平成 30 ³¹ 年度）実績】			
③有機性汚泥	④油泥	⑤廃アルカリ	⑥無機性汚泥
0 t	0 t	2,959.0 t	0 t
0 t	0 t	2,959.0 t	0 t
③実績なし	④実績なし	⑤自社焼却炉にて、通年燃焼処理。	⑥実績なし
【今年度（令和 元 ² 年度）目標】			
③有機性汚泥	④油泥	⑤廃アルカリ	⑥無機性汚泥
0 t	0 t	2,959 t	0 t
0 t	0 t	2,959 t	0 t
③特になし	④特になし	⑤上記取組を継続。	⑥特になし
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（平成 30 ³¹ 年度）実績】			
③有機性汚泥	④油泥	⑤廃アルカリ	⑥無機性汚泥
0 t	0 t	0 t	0 t
③実績なし	④実績なし	⑤実績なし	⑥実績なし
【今年度（令和 元 ² 年度）目標】			
③有機性汚泥	④油泥	⑤廃アルカリ	⑥無機性汚泥
0 t	0 t	0 t	0 t
③特になし	④特になし	⑤特になし	⑥特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度(平成 ³⁰ 年度)実績】			
⑦廃油	⑧木くず	⑨有機性汚泥	⑩ガラスくず等
0 t	0 t	0 t	0 t
⑦実績なし	⑧実績なし	⑨実績なし	⑩実績なし
【今年度(令和 ^元 年度)目標】			
⑦廃油	⑧木くず	⑨有機性汚泥	⑩ガラスくず等
0 t	0 t	0 t	0 t
⑦特になし	⑧特になし	⑨特になし	⑩特になし
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度(平成 ³⁰ 年度)実績】			
⑦廃油	⑧木くず	⑨有機性汚泥	⑩ガラスくず等
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	5,191.5 t	0 t
⑦実績なし	⑧実績なし	⑨余剰汚泥スラリーを脱水機にて脱水。	⑩実績なし
【今年度(令和 ^元 年度)目標】			
⑦廃油	⑧木くず	⑨有機性汚泥	⑩ガラスくず等
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	5,191 t	0 t
⑦特になし	⑧特になし	⑨上記取組を継続。	⑩特になし
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度(平成 ³⁰ 年度)実績】			
⑦廃油	⑧木くず	⑨有機性汚泥	⑩ガラスくず等
0 t	0 t	0 t	0 t
⑦実績なし	⑧実績なし	⑨実績なし	⑩実績なし
【今年度(令和 ^元 年度)目標】			
⑦廃油	⑧木くず	⑨有機性汚泥	⑩ガラスくず等
0 t	0 t	0 t	0 t
⑦特になし	⑧特になし	⑨特になし	⑩特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（平成 30 ³¹ 年度）実績】			
⑩ばいじん			
0 t	0 t	t	t
⑪実績なし			
【今年度（令和 元 ^二 年度）目標】			
⑩ばいじん			
0 t	0 t	t	t
⑪特になし			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（平成 30 ³¹ 年度）実績】			
⑩ばいじん			
0 t	0 t	t	t
0 t	0 t	t	t
⑪実績なし			
【今年度（令和 元 ^二 年度）目標】			
⑩ばいじん			
0 t	0 t	t	t
0 t	0 t	t	t
⑪特になし			
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（平成 30 ³¹ 年度）実績】			
⑩ばいじん			
0 t	0 t	t	t
⑪実績なし			
【今年度（令和 元 ^二 年度）目標】			
⑩ばいじん			
0 t	0 t	t	t
⑪特になし			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成 30 ³¹ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃アルカリ
	全処理委託量	896.51 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)	①実績なし	②実績なし(自社処理後、アルカリ分は⑩ばいじん中へ)
②計画	【今年度（令和 元 ² 年度）目標】		
	産業廃棄物の種類	①無機性汚泥	②廃アルカリ
	全処理委託量	897 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)	①特になし	②特になし
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度 (平成 ³¹ 年度) 実績】			
③有機性汚泥	④油泥	⑤廃アルカリ	⑥無機性汚泥
141.54 t	17.38 t	0 t	11.61 t
141.54 t	17.38 t	0 t	11.61 t
141.54 t	0 t	0 t	11.61 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
③路盤材へのリサイクルを実施	④実績なし	⑤実績なし(自社処理後、アルカリ分は⑩ばいじん中へ)	⑥路盤材へのリサイクルを実施
【今年度 (令和 ² 年度) 目標】			
③有機性汚泥	④油泥	⑤廃アルカリ	⑥無機性汚泥
142 t	17 t	0 t	12 t
142 t	17 t	0 t	12 t
142 t	0 t	0 t	12 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
③取組を継続	④特になし	⑤特になし	⑥取組を継続

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

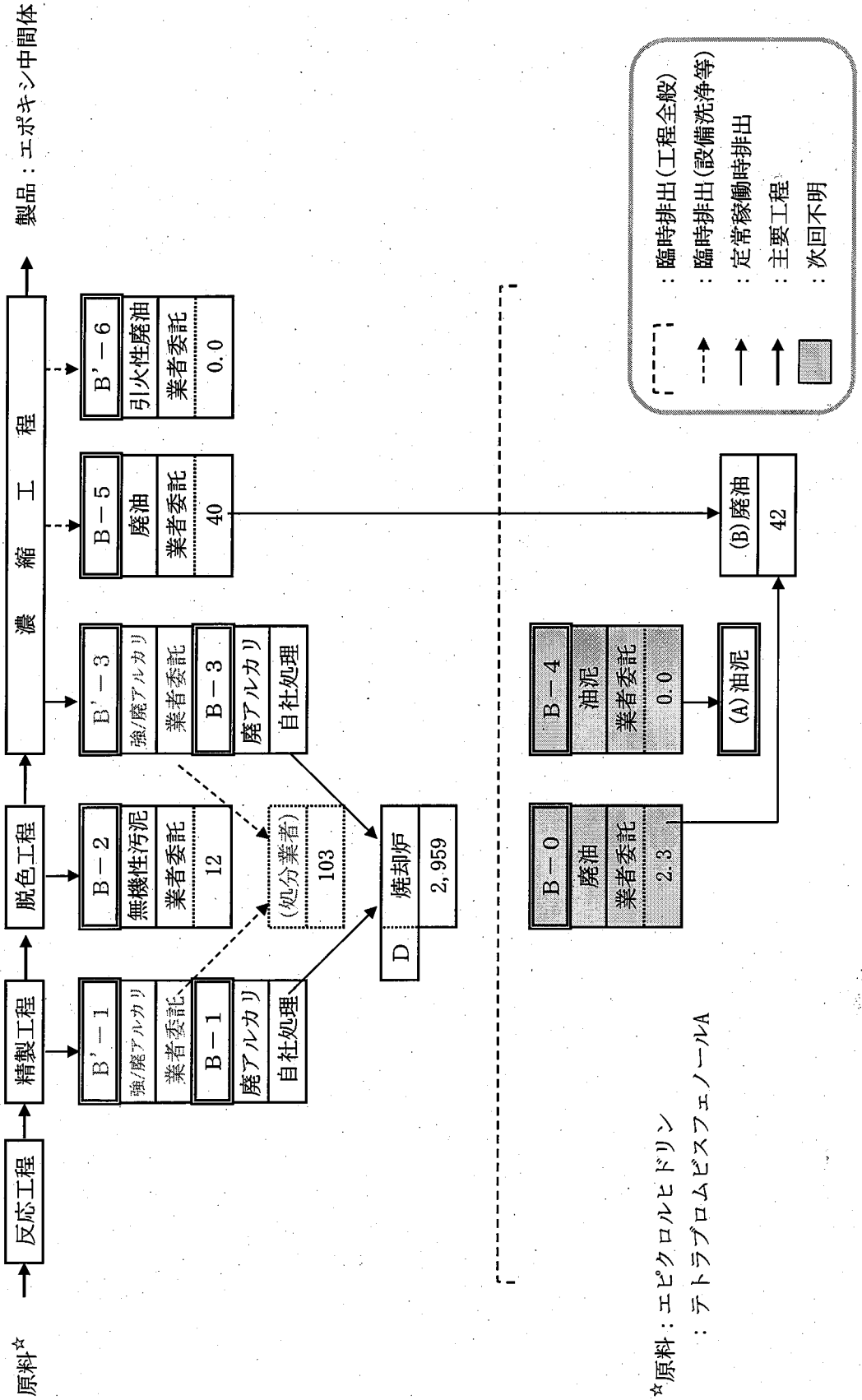
【前年度(平成 ³¹ 30 年度)実績】			
⑦廃油	⑧木くず	⑨有機性汚泥	⑩ガラスくず等
42.47 t	3.26 t	307.25 t	3.85 t
2.34 42.47 t	3.26 t	0 307.25 t	3.85 t
0 t	0 t	307.25 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
⑦実績なし	⑧実績なし	⑨実績なし	⑩実績なし
【今年度(令和 ² 元 年度)目標】			
⑦廃油	⑧木くず	⑨有機性汚泥	⑩ガラスくず等
42 t	3 t	307 t	4 t
42 t	3 t	307 t	4 t
0 t	0 t	307 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
⑦特になし	⑧特になし	⑨特になし	⑩特になし

【前年度（平成 30 ³¹ 年度）実績】			
⑪ばいじん			
19.95 t	t	t	t
19.95 t	t	t	t
0 t	t	t	t
0 t	t	t	t
0 t	t	t	t
⑪埋立から堆肥化に転換、全量リサイクル実施			
【今年度（令和 元 ² 年度）目標】			
⑪ばいじん			
20 t	t	t	t
20 t	t	t	t
0 t	t	t	t
0 t	t	t	t
0 t	t	t	t
⑪特になし			

産廃発生・処理工程フローシート(第1面)④産業廃棄物の一連の処理の工程

第1面別紙

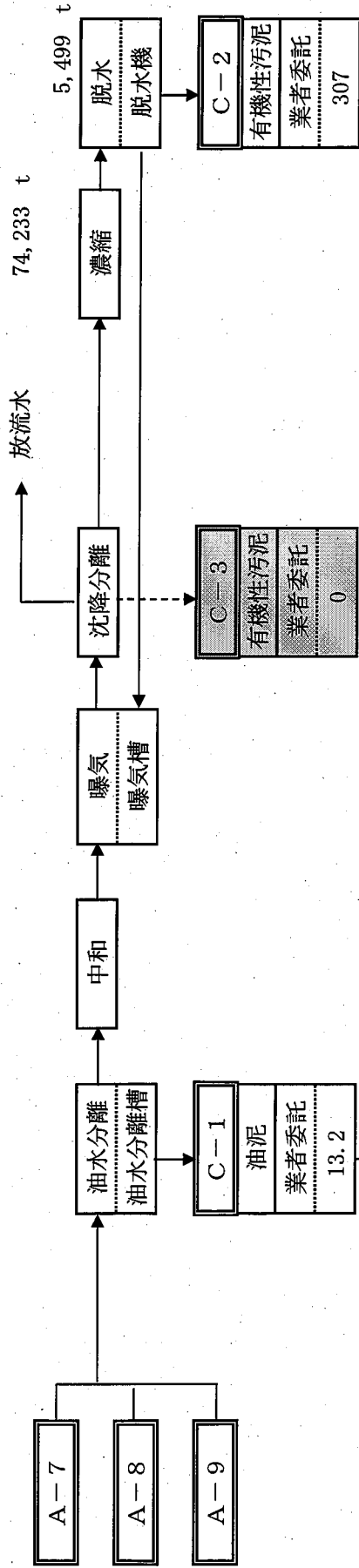
B 有機合成製造工程



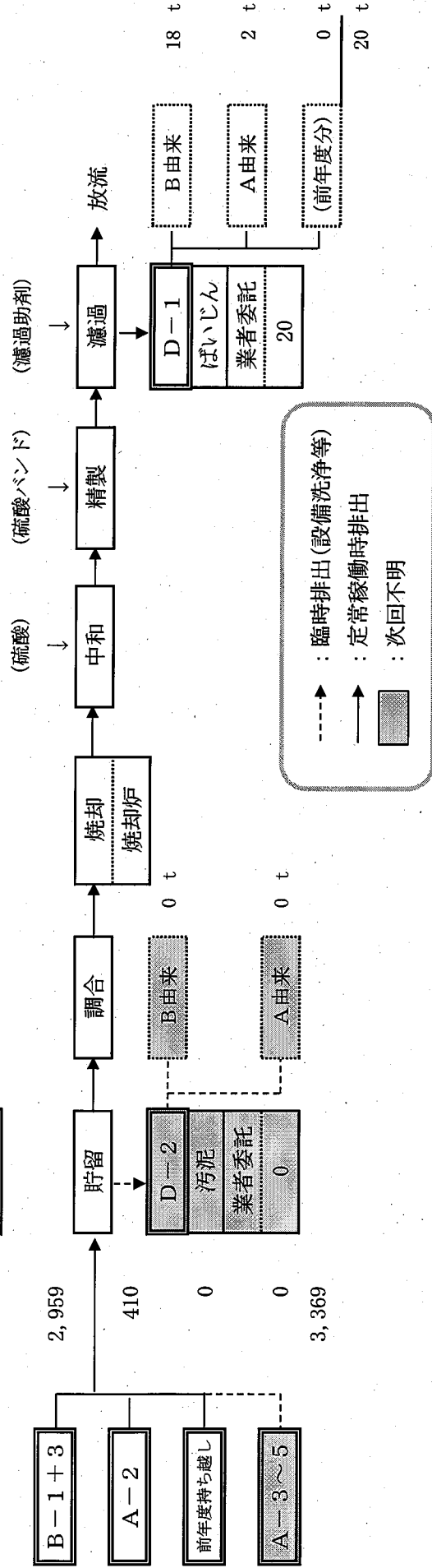
産廃発生・処理工程フローシート(第1面)④産業廃棄物の一連の処理の工程)

第1面別紙

C. 排水処理工程



D. 焼却工程



第2面別紙：廃棄物管理体制図

